

Emulator ver. 12.00a 制限事項説明書

Version: 1.00



重要

Copyright © 2011-2013 Ricoh Co., Ltd.

ご注意

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載、配布することはできません。
3. 本書および本書の対象となるサンプルコードについて、当社は、何らの保証もいたしません。
本書および本書の対象となるサンプルコードを使用したことにより生じるお客様の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。
4. 商標について
 - ・ PostScript、Acrobatは、アドビシステムズ社の各国での登録商標または商標です。
 - ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
 - ・ UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
 - ・ Red Hatは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
 - ・ Eclipse. は、Eclipse Foundation, Inc. の商標です。Eclipseは、eclipse.orgの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ OSGi(TM)は、The Open Services Gateway Initiativeの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ Apacheは、The Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

目次

目次	1
ターゲットマシンの互換性.....	3
マシンと互換性のあるモデル	3
操作パネル表示対応オプション	3
表示タイプ.....	3
表示サイズ.....	3
操作パネル制限	4
ユーザーツール／カウンター／問い合わせ画面.....	4
拡張機能設定画面	5
状態確認画面	5
カウンター値表示画面	5
SDK/J画像ユーザーインターフェースコンポーネントエミュレーションの制限.....	6
jp.co.ricoh.dsdk.panel.Softkeyboard.....	6
jp.co.ricoh.dsdk.panel.Button.Shape.....	7
jp.co.ricoh.dsdk.panel.Button.....	8
jp.co.ricoh.dsdk.panel.ExtraButton.....	8
jp.co.ricoh.dsdk.panel.Component.....	8
jp.co.ricoh.dsdk.panel.ImageIcon.....	8
jp.co.ricoh.dsdk.panel.LabelArea.....	9
jp.co.ricoh.dsdk.panel.Window.....	9
jp.co.ricoh.dsdk.panel.Font.....	9
USB Keyboard APIの制限	9
ハードキー制限	10
ハードキー音	12
機能制限	13
スキャン機能シミュレーション制限	13
スキャン属性.....	13
エラー生成.....	13
スキャン結果データの取得形式.....	13
スキャンイメージのサムネイル作成.....	13
スキャンサービス属性.....	13
印刷機能シミュレーション制限	14
印刷属性	14
エラー生成.....	14
PrintPlus機能.....	14

9100番ポートへの通信.....	16
ファックス機能シミュレーション制限.....	16
ファックス属性.....	16
エラー生成.....	16
システム機能の制限	18
jp.co.ricoh.dsdk.system パッケージ制限.....	18
Limitationクラス.....	18
SystemInfoクラス.....	18
jp.co.ricoh.dsdk.util.app パッケージ制限.....	18
XletUtilsクラス.....	18
Servletにhttps接続するときのサーバ証明書.....	18
システムプロパティ取得	18
サポートするOCR対象言語の一覧.....	18
機器ログ取得	18
認証機能の制限	19
認証方式	19
一般認証	19
カスタム認証サービス.....	19
利用制御サービスを用いた認証.....	20
認証情報利用サービス	21
SDK/J Authentication Package	21
拡張利用量制限機能	21
CIS機能	21
その他	23
Windows Vista、Windows 7 における起動エラーへの対処.....	23
Javaランタイム環境（JRE）	23
ネイティブコードの実行	23
Activation機能制限	23
実行環境依存値の取得	23
絶対パスと相対パスの起点	23
SDK/Jアプリケーションのアンインストール.....	24
機能使用可否の判断方法	24
更新履歴	25

ターゲットマシンの互換性

マシンと互換性のあるモデル

本バージョンのエミュレータでサポートされるエミュレーションは、SDK/Jバージョン12.00のアプリケーションを起動することができるモデルと互換性があります。

操作パネル表示対応オプション

表示タイプ

カラー表示タイプのみ対応しています。（白黒は未対応です。）

表示サイズ

本バージョンのエミュレータでは、WVGA、uWVGAとSVGAオペレーションパネル表示サイズはサポートしていますが、それ以外はサポートしていません。

操作パネル制限

ユーザーツール／カウンター／問い合わせ画面

- 対応しているオプションは「拡張機能設定」と言語ボタンのみです。(図 1 参照)

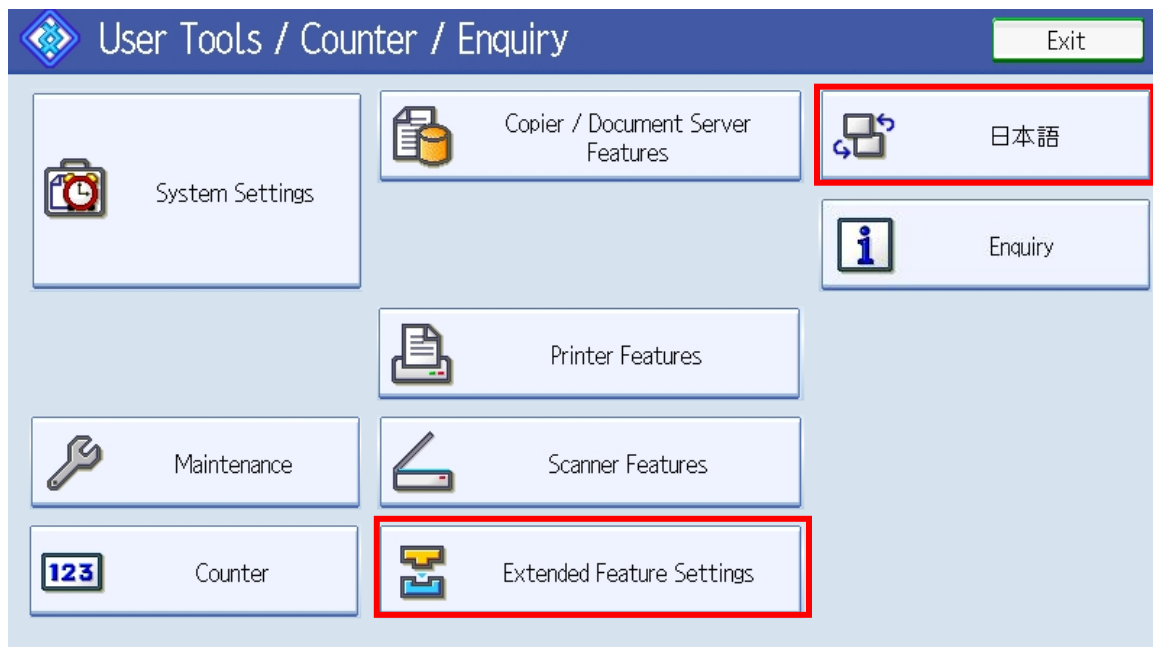


図 1 対応オプション

- 以下のユーザーインターフェースコンポーネントの図では、ユーザーが他の言語に切り替えてもそのインターフェース言語は変わりません。ただし、Windowヘッダに現在の言語が表示されます。
- エミュレータで表示される標準コピーアプリケーション

注意事項：この画面はMFPの操作パネル画面上の表示の流れをシミュレートするためのものです。

以下の図は上記のコンポーネントを詳細に表示しています。

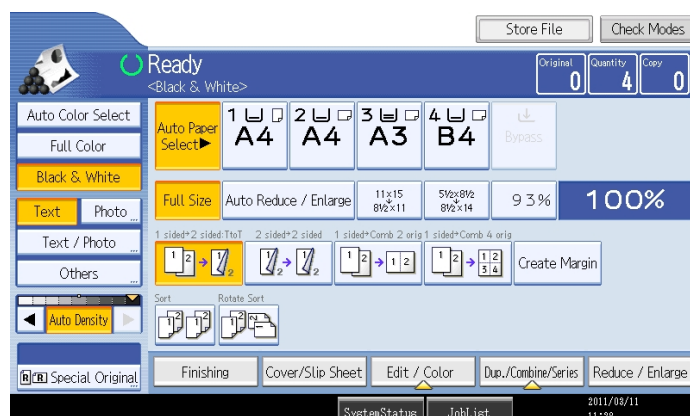


図 2 日本語選択

拡張機能設定画面

本バージョンのエミュレータでは、SDK/Jアプリケーションの管理機能(アプリケーションのインストール、アンインストール、起動、停止)は、2011年春モデル以前の機種に相当する形式で提供されます。

2011年秋モデル以降の実際のMFPとエミュレータでは、拡張機能設定画面の構成、操作手順に違いがあります。

「追加プログラム」操作に関連するタブボタンは表示されません。

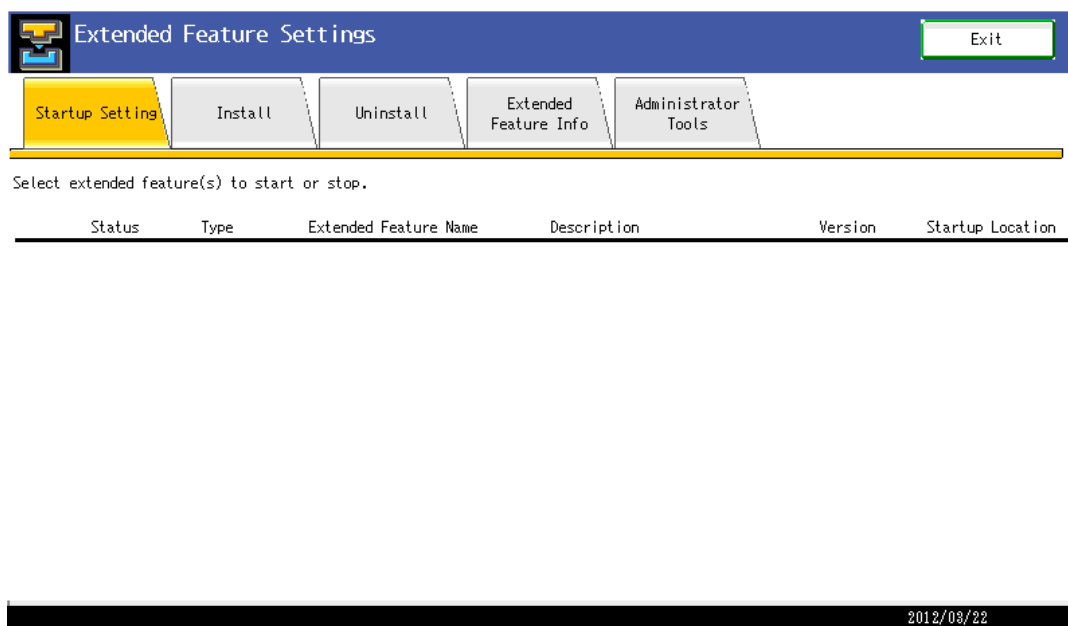


図 3 拡張機能設定画面

状態確認画面

2011年秋モデル以降の機種から、操作パネル上に画面を持つアプリケーションの状態を確認できる状態確認画面が追加され、Xletアプリケーションの状態(アプリケーション状態、メッセージ)をリアルタイムに確認できるようになりましたが、本バージョンのエミュレータでは、状態確認画面はサポートされません。

カウンター値表示画面

本バージョンのエミュレータでは、SDK/Jアプリケーションカウンターを確認するためのカウンター値表示画面はサポートされません。

SDK/J画像ユーザーインターフェースコンポーネントエミュレーションの制限

jp.co.ricoh.dsdk.panel.Softkeyboard

- ソフトキーボードは、英語以外の言語には対応しておらず、jp.co.ricoh.dsdk.panel.SoftkeyboardインスタンスのsetLanguage()メソッドにも対応していません。
- 下の図 4で示されているように、実際にMFPの表示とエミュレータとではボタンのサイズ、形、レイアウトに違いがあります。

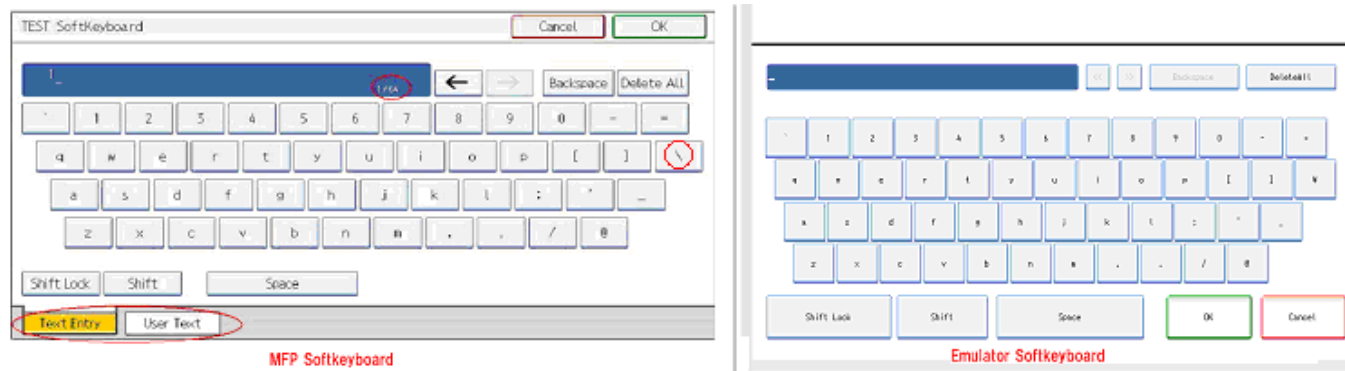


図 4 MFP vs エミュレータのソフトキーボード

- 図 4に示されているように、入力エリアには文字番号の（使用済み／残り）ペアを表示しません。
- 図 4に示されているように、「テキスト入力」と「ユーザーテキスト」ボタンには対応していません。
- エミュレータのソフトキーボードのどのキーを触っても、MFPソフトキーボードと違って音は出ません。
- 下の図 5で示されているように、uWVGAサイズで表示されるソフトキーボードは、WVGAサイズのソフトキーボードを縮小し、表示されます。実機との違いが下記ようになります。
 - ソフトキーボードに表示されるキーの配列
 - 英字、数字、記号の入力切替の方法

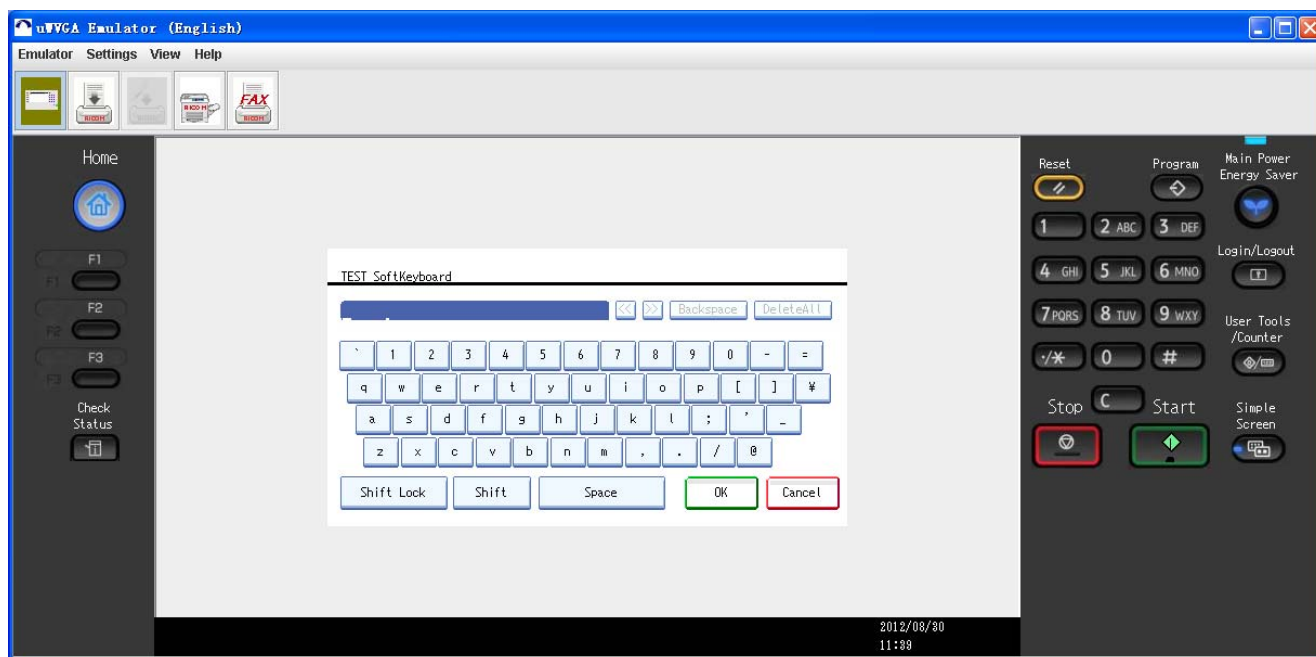


図 5 uWVGA サイズのソフトキーボード

jp. co. ricoh. dsdk. panel. Button. Shape

以下のButton. Shape値には対応していません：

- Button. Shape. COL_NML_SKB
- Button. Shape. COL_LIST_FTK
- Button. Shape. COL_XB_E_01B
- Button. Shape. COL_XBAE_01B
- Button. Shape. COL_XB_T_05B
- Button. Shape. COL_XB_T_06B

jp. co. ricoh. dsdk. panel. Button

- ボタン文字列がWindow内に収まりきらない場合でも、調整や切り捨てなどは行わず、そのまま表示します。
- しかし、実機上では、ボタン文字列がWindow内に収まるように、ボタンの表示位置を調整して、表示します（図6を参照）。

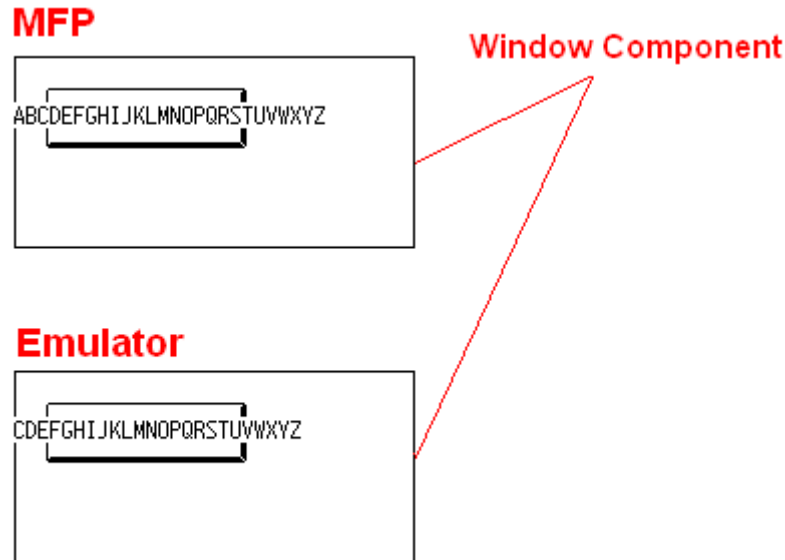


図 6 ボタン文字列が Window 内に収まりきらない場合の振る舞い (Button, ExtraButton)

jp. co. ricoh. dsdk. panel. ExtraButton

- ボタンの文字列がWindowの範囲を超える場合、はみ出た部分は描画されません：
- MFPでは、Windowの範囲内に収まるように表示位置が変化します。

jp. co. ricoh. dsdk. panel. Component

- Componentのbounds縮小時などでrepaintがかかった時に残像が残りません：
 - MFPでは、Componentの再描画部分のみrepaintがかかるため残像が残ります。
 - Componentのremove時にrepaintがかかりません：
 - MFPでは、repaintがかかります。
- ※ ただし、remove時に、明示的にrepaintメソッドを呼出せば、MFPと同じ挙動を示します。

jp. co. ricoh. dsdk. panel. ImageIcon

- Componentのbounds縮小時などでrepaintがかかった時に残像が残りません：
 - MFPでは、Componentの再描画部分のみrepaintがかかるため残像が残ります。
 - Componentのremove時にrepaintがかかりません：
 - MFPでは、repaintがかかります。
- ※ ただし、remove時に、明示的にrepaintメソッドを呼出せば、MFPと同じ挙動を示します。

jp.co.ricoh.dsdk.panel.LabelArea

- blinkはサポートしていません：

jp.co.ricoh.dsdk.panel.Window

- Component生成時のboundsが親Windowの範囲外であっても生成されます：
- MFPでは、範囲外の場合生成されません。

jp.co.ricoh.dsdk.panel.Font

- 日本語/英語を使う場合、以下のフォントには対応するかどうかの制限があります。

フォント	日本語	英語
Font.RMF13	×	○
Font.RMF17S	×	○
Font.RMF17W	×	○
Font.RMF26	×	○
Font.F30	×	×
Font.ALNUM30	×	×
Font.RMF30	×	×

- 文字マッピング：

MFP操作パネルは、以下のように、1 3 4 のデシマル値で文字を表示します：

- インターフェース言語として日本語が選択された場合、円 ‘¥’ の文字が表示されます。
 - その他の言語がインターフェース言語として選択された場合、バックスラッシュ ‘\’ の文字が表示されます。
- エミュレータはローカライゼーションに関わらず、文字を常に円 ‘¥’ 記号で表示します。

USB Keyboard APIの制限

USB Keyboard APIを使用するSDK/Jアプリケーションでは、以下の制限があります。

- jp.co.ricoh.dsdk.panel.event.UsbKeyListenerへのUSBキーボードのキーイベント通知はサポートされません。
- jp.co.ricoh.dsdk.panel.event.UsbKeyLayoutListenerへのUSBキーレイアウト種別の変更通知はサポートされません。
- USBキーレイアウト種別を取得する場合、固定値「UsbKeyLayout.US」（米語、値は1）を返します。

ハードキー制限

- 以下のハードキーはLED点滅には対応していません。いつも点灯の状態が表示されます。
 - 省エネ
 - 単純表示
 - ホーム
 - 中断
 - 初期設定
 - 用紙設定
 - カウンター
- ハードキーの標準操作はサポートしていますが、以下のハードキーの標準操作には対応していません：
 - F1
 - F2
 - F3
 - F4
 - F5
 - 状態確認
 - サンプルコピー
 - 中断
 - プログラム
 - リセット
 - 用紙設定
 - カウンター
 - 言語切替
 - コピー
 - ドキュメントボックス
 - プリンター
 - スキャナー

注意事項: これらのキーを押下した時に生成されるイベントには対応しています。SDK/Jアプリケーションはこれらハードキーを押した場合のイベントを獲得できます。実機では通知されないキーイベントも一部含んでいます。



図 7 ハードキー

ハードキー音

- MFP上のハードキーがブザー音を発生させた場合、エミュレータでは対応していません。

機能制限

エミュレータは、実際の操作を実行するものではなく、これら機能のシミュレーションを行います。
シミュレーションの詳細は、エミュレータの「Emulator ver12.00a 操作手順書」を参照してください。

スキャン機能シミュレーション制限

スキャン属性

- `jp.co.ricoh.dsdk.function.scan.attribute.standard.ScanSourceMode` が唯一の対応属性です。
- 両面スキャン操作は対応していません。

エラー生成

- 定義済みの3つエラーのみに対応しています：
 - `ScannerStateReason.MEDIA_JAM` “紙詰まり”
 - 紙詰まりがおきた時に表示されるシステムの通知ダイアログはありません。エミュレータはユーザーの相互作用なしで紙詰まりは回復したと解釈します。
 - `ScannerStateReason.OTHER` “メモリーフル”
 - `ScannerStateReason.ORG_SIZE_UNKNOWN` “原稿サイズが不明”

スキャン結果データの取得形式

- 定義済みの6つのスキャン結果データの取得形式に対応しています：
 - `ScanDocFlavor.DOCUMENT_STORAGE.RICOH_ORIGINAL`
 - `ScanDocFlavor.OUTPUT_FILES.TIFF`
 - `ScanDocFlavor.OUTPUT_FILES.JPEG`
 - `ScanDocFlavor.OUTPUT_FILES.HCPDF` (Emulator ver.10 以降)
 - `ScanDocFlavor.OUTPUT_FILES.PDF` (Emulator ver.10 以降)
 - `ScanDocFlavor.OUTPUT_FILES.PDF_A` (Emulator ver.10 以降)
- 以下のスキャン結果データの取得形式は未対応です：
 - `ScanDocFlavor.OUTPUT_FILES.ACS`

スキャンイメージのサムネイル作成

スキャンイメージのサムネイル作成のエミュレーション機能には対応していません。

スキャンサービス属性

- 標準スキャナの圧縮設定を示すスキャナサービス属性 (`ScanMultivaluedImageCompressibilitySetting`) を取得する場合、固定値「`ScanMultivaluedImageCompressibilitySetting.Level2`」を返します。
- 原稿サイズ自動検知をサポートするかどうかを判別する場合、固定値「`true`」を返します。
- LT/LGサイズ混載設定値を取得する場合、固定値「`ScanLtLgSizeMixSetting.ENABLE`」を返します。

印刷機能シミュレーション制限

印刷属性

- 定義済みの4つの印刷属性のみに対応しています：
 - トレイの設定
 - 用紙枚数、用紙サイズ、トレイの有無の設定を行うことが可能です。
 - トレイの種類は、TOP、MIDDLE、BOTTOMとTRAY4です。
 - 「TraySelect」オプションで、現在使用中のトレイが設定できます。
 - 原稿情報の設定
 - 原稿と枚数の指定、プリント時のインターバルの設定を行うことが可能です。
 - トナーの設定
 - プリント用トナーの残量を設定することが可能です。
 - トレイ（手差し給紙トレイ）の状態設定
 - Tray DoorとByPass Doorの状態を指定することが可能です。

エラー生成

- 定義済みの2つのエラーのみに対応しています：
 - PrinterStateReason.MEDIA_JAM “紙詰まり”
 - 紙詰まりがおきた時に表示されるシステムの通知ダイアログはありません。エミュレータはユーザーの相互作用なしで紙詰まりは回復したと解釈します。
 - PrinterStateReason.OTHER “メモリーフル”

PrintPlus機能

- 印刷条件指定は対応していません。
- 認証機能は対応していません。
- ジョブ情報取得機能

以下のジョブ情報を取得する場合、制限があります。

 - JobState（ジョブ状態）
 - サポートしているJobStateは、PENDING、PROCESSING、PROCESSING_STOPPED、COMPLETEDとCANCELEDです。
 - JobStateReason（ジョブ状態詳細）
 - サポートしているJobStateReasonは、JOB_CANCELED_BY_USERです。
 - JobName（ジョブ名）
 - 固定値「PrintPlusJob」を返します。
 - JobOriginatingUserName（ジョブ実行ユーザー名）
 - 固定値「PrintPlusUser」を返します。
 - JobImpressionsCompleted（排紙ページ数）
 - 排紙ページ数の範囲は「0～Printパラメータで設定した原稿枚数（最大99枚）」です。
- プリンタ情報取得機能

以下のプリンタ情報を取得する場合、制限があります。

 - PrinterState（プリンタの状態）

- サポートしているPrinterStateは、IDLE、PROCESSINGとSTOPPEDです。
- PrinterStateReason（プリンタの状態詳細）
 - サポートしているPrinterStateReasonは、COVER_OPEN、INPUT_TRAY_MISSING、MEDIA_EMPTY、MEDIA_JAM、OTHER、TONER_EMPTYとTONER_LOWです。
 - PrinterStateReason発生時のPrinterStateは実機と異なります。次の表に、PrinterStateReason発生時のPrinterStateをまとめます。

PrinterStateReason	PrinterState	
	印刷ジョブがない場合	印刷ジョブがある場合
TONER_EMPTY	IDLE	STOPPED
COVER_OPEN	IDLE	ジョブ停止の要因である場合：STOPPED ジョブ停止の要因ではない場合：PROCESSING
MEDIA_JAM	STOPPED	STOPPED
OTHER	IDLE	PROCESSING
INPUT_TRAY_MISSING	IDLE	PROCESSING
MEDIA_EMPTY	IDLE	PROCESSING
TONER_LOW	IDLE	PROCESSING

- PrinterMakeAndModel（メーカー名、モデル名）
 - 固定値「laRICOH JavaTM, Aficio MPC2500」を返します。
- ジョブ情報通知機能
 - ジョブ状態変更が発生した場合、通知できるジョブ状態は、PROCESSING、PROCESSING_STOPPED、COMPLETEDとCANCELEDです。
- プリンタ情報通知機能
 - プリンタの状態変更が発生した場合、通知できるプリンタの状態は、IDLE、PROCESSINGとSTOPPEDです。
- ケーパビリティ取得機能
 - 指定可能なDocFlavorの一覧を取得時に、DocFlavor. URL. PCL、DocFlavor. URL. PDF、DocFlavor. URL. POSTSCRIPT、DocFlavor. URL. RPCS、DocFlavor. URL. TIFFを返します。
 - 指定可能な印刷属性カテゴリの一覧を取得時に、Chromaticity、Copies、Staple、MediaName、MediaSizeName、MediaTray、NumberUp、PresentationDirection、SheetCollate、Sides、Fitting、Punch、Resolution、SeparatorLine、TonerSave、CustomSize、PDFPassword、UserAuthInfo、PriorityAuthData、Silentを返します。
 - 特定の印刷属性カテゴリ内で指定可能な印刷属性値の一覧を取得時に、下表のように一覧を返し、それ以外は、nullを返します。

印刷属性カテゴリ	指定可能な印刷属性値の一覧に格納する値
Chromaticity、Staple、MediaName、MediaSizeName、MediaTray、PresentationDirection、SheetCollate、Sides、Fitting、Punch、Resolution、SeparatorLine、TonerSave、PriorityAuthData、Silent	定義された全ての印刷属性値
CustomSize、UserAuthInfo	なし（空のList）
Copies	CopiesSupported(1, 999)

NumberUp	NumberUpSupported (new int[][] {{1}, {2}, {4}, {6}, {8}, {9}, {16}})
PDFPassword (DocFlavor引数がDocFlavor.URL.PDF に設定された場合のみ)	なし (空のList)

- 特定のDocFlavorを指定可能かどうかを判別時に、判別対象はDocFlavor.URL.PCL、DocFlavor.URL.PDF、DocFlavor.URL.POSTSCRIPT、DocFlavor.URL.RPCS、DocFlavor.URL.TIFFであれば、trueを返し、それ以外は、falseを返します。
- 特定の印刷属性カテゴリを指定可能かどうかを判別時に、判別対象はChromaticity、Copies、Staple、MediaName、MediaSizeName、MediaTray、NumberUp、PresentationDirection、SheetCollate、Sides、Fitting、Punch、Resolution、SeparatorLine、TonerSave、CustomSize、PDFPassword、UserAuthInfo、PriorityAuthData、Silentであれば、trueを返し、それ以外は、falseを返します。
- 特定の印刷属性値を指定可能かどうかを判別時に、判別対象は下表の印刷属性値であれば、trueを返し、それ以外は、falseを返します。

No.	印刷属性値
1	Chromaticity、Staple、MediaName、MediaSizeName、MediaTray、PresentationDirection、SheetCollate、Sides、Fitting、Punch、Resolution、SeparatorLine、TonerSave、CustomSize、UserAuthInfo、PriorityAuthData、Silent印刷属性カテゴリの全ての印刷属性値
2	Copies(1)～Copies(999)
3	NumberUp(1)、NumberUp(2)、NumberUp(4)、NumberUp(6)、NumberUp(8)、NumberUp(9)、NumberUp(16)
4	PDFPassword印刷属性カテゴリの全ての印刷属性値 (DocFlavor引数がDocFlavor.URL.PDFに設定された場合のみ)

- 排他関係の取得は対応していません。

9100番ポートへの通信

9100番ポートへの通信はサポートされません。9100番ポートへ印刷データを送信し、印刷することができません。

ファックス機能シミュレーション制限

ファックス属性

- 定義済みの3つのファックス属性のみに対応しています：
 - Fax受信情報の設定
 - 設定情報がTSI、受信FileNo、Fax回線種別とFax付加情報を含めます。
 - Fax時間の設定
 - 送信者毎にEmulatorへFAXを送信した後から次の送信者送信開始までのインターバルを設定することが可能です。
 - Faxステータスの設定
 - サポートしているFaxステータスは、FCU_READY、FCU_NOT_READY、FCU_RESETとFCU_NO_CONNECTです。

エラー生成

- 定義済みの3つのエラーのみに対応しています：

- TransmissionDetail.INTERNAL_ERROR “システム内部でエラーが発生した”
- TransmissionEvent.TX_FAILED “送信失敗”
- TxCancelLine.CANCEL_NG “送信キャンセル失敗”

システム機能の制限

jp.co.ricoh.dsdk.system パッケージ制限

以下はエミュレータで対応していないクラスのリストです：

Limitationクラス

このクラスのメソッドは、どのメソッドが呼び出されても必ず“true”が返されます。

SystemInfoクラス

このクラスのメソッドは、制限された値を返します。：

- getProperty() メソッドは常に固定の値（3A80-071084）を返します
- getFreeSpace() メソッドはJVMメモリ領域の空き容量を返します
- getFreeINode() メソッドは8000を返します

jp.co.ricoh.dsdk.util.app パッケージ制限

以下はエミュレータで制限あるクラスのリストです：

XletUtilsクラス

- Xletから標準アプリケーションへの画面切り替え機能に関して、切り替えられる標準アプリケーションはコピーアプリケーションだけです。コピーアプリケーション以外へ切り替えるようにAPIをコールする場合、画面切り替え失敗として、例外CannotSwitchDisplayExceptionが発生します。
- getBookmarks() メソッドは空のリストを返します。
- 起動中アプリケーションのショートカット情報を取得する場合、プログラムとブックマークのショートカット情報が取得できません。

Servletにhttps接続するときのサーバ証明書

2011年秋モデル以降の機種から、機器起動時の機器証明書(証明書1、SSLの証明書)の状態によってServletにhttps接続するときのサーバ証明書が変更されますが、本バージョンのエミュレータでは、機器証明書を導入する手段は提供されません。2011年春モデル以前の機種と同様、常にデフォルトのサーバ証明書を使用して動作します。

システムプロパティ取得

サポートするOCR対象言語の一覧

キー名が「dsdk.function.scan.searchablepdf.languages」のシステムプロパティを取得する場合、固定値「JA, EN, DE, FR, IT, ES, NL, PT, PL, SV, FI, HU, NO, DA」を返します。

機器ログ取得

機器ログ（エコロジーログ）を取得する場合、ログ取得条件に関わらず、固定値として下記の「機器ログ取得結果」を返します。

- 機器ログ取得件数：0件
- 機器ログ分割有無：無

認証機能の制限

本バージョンのエミュレータは、一般認証とカスタム認証のシミュレーションをサポートしていますが、MFPのアドレス帳はサポートしません。以下に、サポートされない機能について、説明します。

認証方式

一般認証

一般認証では、標準認証画面の表示と削除のみ、シミュレートします。ユーザー認証には、MFPのアドレス帳は使用されません。使用される認証情報に関係なく、あらかじめ設定されている認証結果（成功または失敗）が使用されます。

カスタム認証サービス

Custom Authentication Service APIを使用するSDK/Jアプリケーションでは、以下の制限があります。

- `jp.co.ricoh.dsdk.auth.internal.InternalCallback`クラスを使用した認証情報の取得では、以下のメソッドが使用できません：
 - `InternalCallback.getRequestApplication()`
 - `InternalCallback.getAccessType()`
 - `InternalCallback.getLoginDeviceType()`
 - `InternalCallback.getAppKeyword()`
 - `InternalCallback.getAppKeywordCharcode()`
- `jp.co.ricoh.dsdk.auth.internal.InternalPrincipal`クラスを使用したユーザー情報の設定では、以下のメソッドが使用できません：
 - `InternalPrincipal.setDisplayName()`
 - `InternalPrincipal.setFaxNumber()`
 - `InternalPrincipal.setMailAddress()`
 - `InternalPrincipal.setPassword()`
 - `InternalPrincipal.setSerialId()`
 - `InternalPrincipal.setUserId()`
 - `InternalPrincipal.setUserName()`
- 利用制限情報の設定において、`jp.co.ricoh.dsdk.auth.Credential.addFunctionPermissions()`メソッドおよび以下のクラスが使用できません：
 - `jp.co.ricoh.dsdk.auth.CopyPermission`
 - `jp.co.ricoh.dsdk.auth.DocServerPermission`
 - `jp.co.ricoh.dsdk.auth.ScanPermission`
 - `jp.co.ricoh.dsdk.auth.PrintPermission`
 - `jp.co.ricoh.dsdk.auth.FaxPermission`
 - `jp.co.ricoh.dsdk.auth.ExtApplicationPermission`

- jp.co.ricoh.dsdk.auth.FunctionPermission
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.BrowserPermission (SDK/J ver. 10.00 以降)
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.CopyOutputPermission (SDK/J ver. 10.30 以降)
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.PrintOutputPermission (SDK/J ver. 10.30 以降)
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.input.AltInputContextを使用する代替認証方式は、サポートされません。
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.internal.InternalAuthManager.registerInternalLoginModule(InternalLoginModule, Text, Text)メソッドを使用して拡張認証画面を表示することは、サポートされません。

利用制御サービスを用いた認証

Usage Control Service APIを使用するSDK/Jアプリケーションでは、以下の制限があります。

- jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.ExternalCallbackImplクラスを使用した認証情報の取得では、以下のメソッドが使用できません：
 - ExternalCallbackImpl.getUserId()
 - ExternalCallbackImpl.getUserIdCharcode()
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.ExternalPrincipalクラスを使用したユーザー情報の設定では、以下のメソッドが使用できません：
 - ExternalPrincipal.setUserId()
- 利用制限情報の設定において、jp.co.ricoh.dsdk.auth.Credential.addFunctionPermissions()メソッドおよび以下のクラスが使用できません：
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.CopyPermission
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.DocServerPermission
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.ScanPermission
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.PrintPermission
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.FaxPermission
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.ExtApplicationPermission
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.FunctionPermission
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.BrowserPermission (SDK/J ver. 10.00 以降)
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.CopyOutputPermission (SDK/J ver. 10.30 以降)
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.PrintOutputPermission (SDK/J ver. 10.30 以降)
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionEventListenerを使用して標準機能の情報をトラッキングするカウンタ機能は、サポートされません。
また、以下のクラスを使用した情報の取得は、サポートされません：
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionCopyEvent
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionCopyReportEvent

- jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionDocServerEvent
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionFaxReceiveEvent
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionFaxReportEvent
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionScannerEvent
 - jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionStapleEvent
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.external.DetectionsSystem.getTrayCounterメソッドを使用したトレイカウンタ番号の取得は、サポートされません。
 - ExternalLoginContext.setRemain()メソッド使用して標準コピー機能の利用制限を設定することは、サポートされません。

認証情報利用サービス

Authentication Information Utilization Service APIを使用するSDK/Jアプリケーションでは、以下の制限があります。

- jp.co.ricoh.dsdk.auth.service.AuthContextクラスを使用した機器認証情報の取得機能はサポートされません。
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.service.AuthListenerへの認証設定変更通知、ログイン・ログアウト通知はサポートされません。

SDK/J Authentication Package

SDK/J Authentication Packageはサポートされません。

拡張利用量制限機能

拡張利用量制限機能のAPIを使用するSDK/Jアプリケーションでは、以下の制限があります。

- jp.co.ricoh.dsdk.auth.extlimitパッケージのクラス群を使用した拡張利用量制限サービス機能はサポートされません。
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.detection.DetectionEventListenerを使用して標準機能の情報をトラッキングするカウンタ機能は、サポートされません。

また、以下のクラスを使用した情報の取得は、サポートされません：

- jp.co.ricoh.dsdk.auth.detection.DetectionCopyEvent
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.detection.DetectionFaxReceiveEvent
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.detection.DetectionFaxSendEvent
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.detection.DetectionPrinterEvent
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.detection.DetectionScannerEvent
- jp.co.ricoh.dsdk.auth.detection.DetectionStapleEvent

CIS機能

CIS APIを使用するSDK/Jアプリケーションでは、以下の制限があります。

- 本バージョンのエミュレータでは、ICカード用プラグインの機能がエミュレートできますが、実際のICカード用プラグインはサポートされません。
- ICカードリーダ名を取得する場合、固定値「VirtualCardReader」を返します。

その他

Windows Vista、Windows 7 における起動エラーへの対処

Windows VistaおよびWindows 7では、Emulatorで使用するポート番号が既にシステム又は他のアプリケーションで使用されている場合、ポート番号の重複を検出できません。コマンドプロンプトまたはログファイルにはポート番号重複のログは出力されず、`java.net.BindException`が発生してEmulatorが終了します。

Emulatorが使用するポート番号および使用ポート番号の変更手順は、操作手順書「Emulatorの動作環境 7. TCPポート」に記載されています。本件に該当しEmulatorの起動に失敗する場合は、Windowsのnetstatコマンドなどのネットワークユーティリティを利用してシステムのポート使用状況をご確認いただき、Emulatorの使用するポートをシステムの空きポート番号に変更してください。

netstatコマンドの使用方法につきましては、下記のWebサイトをご参照ください。

<http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb490947.aspx>

Javaランタイム環境（JRE）

エミュレータにおいて、以下のシーケンスを適用した場合、

- エミュレータのメインWindowで、“View -> Window -> Separated” からWindowを分割する。
- 分割したWindowのサイズを、マウスを使って、変更する。
- “View -> Window -> United” から、分割したWindowを再結合する。

再結合したWindowのスクロールバーに、エラーが生じるかもしれません。これはJREの不具合によるものです。

ネイティブコードの実行

JNI, `java.lang.Runtime`クラスを使用した、ネイティブ実行ファイル/ネイティブライブラリを利用するアプリケーションの動作はサポートされません。

Activation機能制限

Activation機能を利用したSDK/Jアプリケーションが動作できます。ただし、アプリケーションのインストールと起動の時には、Activation認証は行われません。

実行環境依存値の取得

実行環境に依存する値を取得する場合はエミュレータで実行するPC環境の値が取得されます。

例えば、`java.io.File.separator`でディレクトリの区切り文字を取得する場合、PC環境の「¥」が取得されます。

絶対パスと相対パスの起点

エミュレータの絶対パスと相対パスの起点は実機と異なります。

絶対パスの起点は「%Emulatorのインストールフォルダ%のドライブ」です。

相対パスの起点は「%Emulatorのインストールフォルダ%¥dsdk」です。

SDK/Jアプリケーションのアンインストール

エミュレータのSDK/Jアプリケーションのアンインストール処理は実機と異なるので、SDK/Jアプリケーションがアンインストールされた後、エミュレータを再起動してください。

機能使用可否の判断方法

エミュレータの機能使用可否の判断方法は実機と異なります。

実機では、機種により機能の使用可否が決まりますが、エミュレータは全ての機能を使用可能としています。例えば、実機では、原稿検知が有効な場合LT/LGサイズ混載機能は無効で、原稿検知が無効な場合LT/LGサイズ混載機能が一部機種で有効です。つまり、原稿検知機能とLT/LGサイズ混載機能が同時に有効になることはありません。しかし、エミュレータでは両方の機能を有効としています。

更新履歴

Ver	内容
1.00	ver. 11.00c の制限事項説明書をベースに新規作成しました。
2013/08/30	<p>下記はver. 11.00cからの変更内容です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ホーム画面」の制限を削除しました。 2. 「カウンター値表示画面」の制限を追加しました。 3. 「ハードキー制限」の注意事項を変更しました。 4. 「スキャンサービス属性」に制限を追加しました。 5. PrintPlus機能関連の制限を変更しました。 6. 「機器ログ取得」の制限を追加しました。 7. 「利用制御サービスを用いた認証」に制限を追加しました。 8. 「CIS機能」の制限を追加しました。 9. 「SDK/Jアプリケーションのアンインストール」の制限を追加しました。 10. 「機能使用可否の判断方法」の制限を追加しました。